

【活動資料】 自然体験 ※職員の指導あり。 ※30名6人班小学校高学年想定

2 里山保全活動

1 注意事項

- カヤックと同時に活動はできません。
- 講話、雨プログラム単体での活動は行っておりません。
- 一般団体1回50名まで・学校1回2クラスまで。※50名に対して団体・学校引率者2名以上必要です。

2 期間 通年

3 目安時間（片付けを含む） 晴れ：3時間 雨プログラム：1時間30分

4 雨天時 雨の程度によっては可、または雨プログラム（講話、きこり体験）

5 場所 講話：研修室・体育館・講義室 作業：ふれあいの森・大門池広場（晴れ）、体育館・体育館下（雨）

6 準備物

- 自然の家にあるもの のこぎり、熊鈴
- 準備していただくもの 軍手または作業用手袋、長そで、長ズボン（汚れてもよいものが望ましい。）
はきなれた動きやすい靴（サンダル不可）、帽子、水筒、救急セット

7 当日の活動の流れ（晴れの場合）

- (1) 体験開始30分前に団体代表者は職員と打合せを行い、実施の最終判断をします。
 - (2) 参加者は各自準備物を持ち、講話実施の場所へ集合します。
 - (3) 職員より里山保全についての講話をします。
 - (4) 長そで・長ズボンを着用し集合していただき、ヘルメット・のこぎりを配布いたします。
 - (5) ふれあいの森へ木の伐採へ行きます。
 - (6) 木を広場へ運び出します。
 - (7) 木と葉っぱに分け、木は30cm程度に切りそろえます。
 - (8) 切り終わったものを薪小屋へ運びます。
 - (9) 道具を清掃していただいたのち回収いたします。
 - (10) 振り返りを行います。
- ※雨の場合(3)、(6)のみです。

8 片付け

- 掃除をする。
- 道具を返却する。

9 イメージ写真

